

# ブナの森づくりプロジェクト

活動地域  四国



フリースクールの生徒たちとブナの種子採取

## 課題

戦後すぐまで残されていた奥山は拡大造林で伐られてしまった後、放置林化したり皆伐ではげ山になったりと不可逆的な環境の変化が大きな問題になっている。

## 目標

「社会的共通資本」として四国の奥山の天然林を復元していく過程で、事業に関わる方たちのそれぞれの自然観・世界観・人生観が拡大していくようにする。



## 今後の展望

2月に四国の奥山自然再生協議会準備会を立ち上げた。山林は所有権や税の問題等多くの社会問題があるが、行政機関や自治体を協議会に巻き込みながら同時に解決できるよう自然再生の成功のひな形になるようにしていく。

ひろげる助成

2年目

実践

## 活動内容と成果

奥山復元のための小さなひな型づくりを行っている。遺伝子攪乱を起こさないよう国有林の天然林や社叢林の天然記念物の種子を採取・播種し、苗を育て、放置林の立木を伐倒しその木で防鹿柵をつくる。つくった林冠ギャップに森づくりの骨格となる樹木を植栽する事業を展開。それらの木々は何十年後かに、あたりに種子を散布する母樹として重要な働きをすると期待している。

活動には社会的弱者や親子を中心に、植生や法律の専門家、林業関係者や企業も主体的に参加し、現在ボトムアップで四国の奥山自然再生協議会準備会が立ち上がっている。



第6回森の復元プラットフォームセミナー

参加者数 **1,758人**

自然観が広がった人の割合 **90.9%**

今年度計画の達成度 **79.4%**

全体計画の達成度 **60%**

## 苦勞した点と工夫した点

### ■ 苦勞した点

専門家による学術的森づくりは新型コロナウイルスの感染対策のため対面で委員会が行えず、GIS解析等なかなか進まなかったため対策に苦勞した。

### ■ 工夫した点

事業への関心が集まり、事業説明の依頼も増えはじめ、プラットフォームセミナーも動画配信を行うことで参加賛同者を増やせた。

〒791-1222

愛媛県上浮穴郡久万高原町

二名乙787番地13

電話：0892-50-1977

E-mail：yuranonomori@gmail.com

HP：https://yuranonomori.jp/

